



“心豊かに
笑顔あふれる”

青森県
総合社会教育センター

響

所報〈ひびき〉

No.
109

平成29年 9月26日

高校生・大学生のやる気に火を灯して10周年！ ～高大連携キャリアサポート推進事業～

- 高校生の「やる気」や「意欲」を引き出し、夢に向かって主体的に行動できる人財を育成するために、大学生が高校生の将来をともに考えるワークショップ「キャリアサポ」を開催しています。

今年で10年目を迎える「キャリアサポ」は、高校生の夢や具体的な目標設定、部活動等日常生活の悩み解決の糸口を見つけ出すためのワークショップです。そこで活動する大学生は、コミュニケーション、ファシリテーション等の研修を受講し、自身のスキルアップを行っています。今年度は県内25の高等学校にて「キャリアサポ」を展開中です。



大学生研修の様子



緊張をほぐすアイスブレイク

「キャリアサポ」では、高校生が自分のこれからについて、大学生と共に考えます。大学生は、研修で学んだ相手が心を開く円滑な人間関係づくりを実践しながら、コミュニケーション能力を高めていきます。この活動には、県内の大学・短大・専門学校等から延べ1,198名（昨年度実績）が参加しています。これら多くの大学生の力を合わせ、「キャリアサポ」が成り立っています。

- 春に4校で実施したワークショップでは、緊張の中でも大学生の奮闘が伝わり、終了時の高校生の目の輝きはワークショップ開始時とは見違えるようでした。

高校の先生方からは「生徒たちは楽しそうに生き生きと活動できていた。」「大学生が積極的に『自分』の話を話していたので、生徒も『自分』の内にあるものを出すことができていた。」「生徒の普段見せない表情や様子を見ることができた。実施して良かった。」等の感想がありました。

- 参加した高校生からも、満足感いっぱいの感想が届いています。

「自分の将来の夢について話したら、迷っていた部分が少し無くなりました。」「自分の内面にある本当に好きなことを見つけられました。夢に向かって頑張りたいと思います。」「初対面で緊張したけど、大学生の皆さんが引っ張ってくれて



大学生によるカタリ



車座になったの目標設定

楽しく過ごせました。」「カタリでは、大学生の話を聴いて、自分と少し似ているなと思いました。後悔しないように自分で考える・決めるということ、苦手でも少しずつ実践していきたいです。自分でやりたいことも改めて考えることができて、良かったです。」等の感想がありました。

このように、「キャリアサポ」は県教育委員会、大学生、高校が力を合わせ、高校生のキャリア形成を支援しています。

青森県総合社会教育センター

検索

〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7 TEL 017-739-1252 FAX 017-739-1279 <http://www.alis.pref.aomori.lg.jp/>

◆「あおもり家庭教育アドバイザー養成講座」

5月26日・30日五所川原市民学習情報センター



古川 照美 氏



津島 弘美 氏

「あおもり家庭教育アドバイザー養成講座」が5月26日(金)、5月30日(火)の2日間に渡り、西北・中南地区の家庭教育支援に携わっている方々を対象に、五所川原市民学習情報センターで開催されました。古川氏の講義では、生活習慣病予防のためには、たとえ親が朝食を欠食し、就寝時刻が遅くなっても、**子どもには朝食をとらせる、早めに寝かせる**ことが大切であるということ、津島氏の講義では「私たちが怒らせるものの正体は、自分の願望、希望、欲求を象徴する言葉『べき』である。一見すると正しいように思える『べき』だが、『こうあるべきだ。』の理想と現実のギャップから怒りが生まれる。」とのご講義をしていただきました。

◆「講義」

講義「家庭教育の現状とあおもり家庭教育アドバイザーの役割」

青森県立保健大学 健康科学部
看護学科 教授 古川 照美 氏

講義「イライラ・怒りと上手につき合うためには」
アンガーマネジメント青森

代表 津島 弘美 氏

◆「受講者の声」

- ・興味を持ったのは、生活習慣病のお話です。自分も子どもが産まれたときのことを考えて、しっかり対策をとっていきたいと思います。
- ・とても良かったです。自分の気持ちの持ち方をするようにするか、「アンガーマネジメント」の必要性を理解することができました。

◆「家庭教育支援スキルアップ研修会」

7月4日 三沢市国際交流教育センター



川内 規会 氏



秋元 美香子 氏

「あおもり家庭教育アドバイザー」の登録者等を対象に、家庭教育支援者としての更なる資質向上とネットワークの構築を図ることを目的として、講師に青森県立保健大学の川内氏、事例発表に青森市家庭教育サポーター連絡会の秋元氏をお迎えし、三沢市国際交流教育センターで研修会を開催しました。川内氏の講義では、**コミュニケーションの基本は「認める」**ということ、ほめる時は、相手を理解するために、観察・傾聴・確認・共感が必要であるということをご教示いただきました。また、秋元氏の事例紹介では「参加者に、**何を伝えたいのか、何をもち帰って欲しいのか**、プログラムを明確にして進行すること、を心がけ、5年間家庭教育アドバイザーとして取り組んできた。」などのお話を伺うことができました。

◆「講義・事例発表・演習」

講義「プログラムを円滑に進めるコミュニケーションの在り方」

青森県立保健大学 健康科学部 看護学科
准教授 川内 規会 氏

事例紹介「家庭教育アドバイザーとしてのエピソード」

青森市家庭教育サポーター連絡会
青森市家庭教育サポーター 秋元 美香子 氏

演習「スキルアップあおもり親楽プログラム」
担当 県総合社会教育センター職員

◆「受講者の声」

- ・川内先生の笑顔にまず引き込まれました。非言語がそのまま伝わり、内容と共に素晴らしい出会いでした。演習にもう少し時間をいただきたいかったです。
- ・平成25年度からアドバイザーをなさっているだけあり、経験豊富でアイスブレイクのつかみから始まり、進行の仕方が上手だと思いました。



| 放送予定日 | 再放送 |
|-----------|------------|
| ①10/1 (日) | ①10/29 (日) |
| ②11/5 (日) | ②11/26 (日) |
| ③12/3 (日) | ③12/24 (日) |
| ④1/21 (日) | ④1/24 (日) |

パパ・ママ応援! TV「あおもり子育てつながりんく」10月スタート!!

昨年、放送を開始した子育て応援番組「あおもり子育てつながりんく」が再びお茶の間に!!
子育て支援についての情報や、青森の子育て事情を日曜の夕方、ご家庭にお届けします。

『あおもり子育てつながりんく』ラインナップ

- ① はじめよう!生活習慣の改善 ~肥満・虫歯予防~ (予定)
- ② 地域で支える子どもの体力づくり (予定)
- ③ イクジイ・イクバア イマドキの子どもについて学ぶ (予定)
- ④ 「小1の壁」と向き合う (予定)





～つどう、つながる、ひろがる～

あおもり県民カレッジ

生涯学習フェア 2017

日頃、生涯学習に取り組んでいる方々の成果発表や活動紹介のほか、関係団体によるイベント・軽食販売など、楽しいプログラムがいっぱい。ぜひ遊びに来てください！

10.1 日 10:00~16:00
青森県総合社会教育センター

13:30~14:00
あおもり県民カレッジ
認定証交付式



14:10~15:40
青森山田高校サッカー部監督
黒田 剛 氏 スペシャル トークショー

農産物・加工品等の販売
焼そば・フランク・棒パン・かき氷等

“おしごと体験” 出前授業
ジョブランド

館内まるっとお楽しみ!

| | |
|--------------|----|
| 体験するゾーン | 4階 |
| 挑戦するゾーン | 3階 |
| 学び合うゾーン | 2階 |
| つながる・ひろがるゾーン | 1階 |



あおもり県民カレッジ
連携機関による
活動紹介・体験コーナー



創作活動・社会参加活動モデル団体活動中!

Q どんな事業なの?

A 高校生や大学生等で構成される団体のうち、創作活動（歌・ダンス等）や社会参加活動（異年齢交流、キャリア形成支援等）を行っている団体をモデル団体に指定し、活動の推進に取り組むための方策を研究する事業です。

Q どんな支援をしているの?

A 発表の場の提供（生涯学習フェアなど）、情報発信専用掲示スペースの設置、センター研修室等使用料の減免、社会教育主事等による情報提供とアドバイスを行っています。



Q どんな団体が登録しているの?

A 創作活動は2団体、社会参加活動は4団体が活動中です！今年度の募集については現在も受付中です。

興味のある方はセンター内ポスターか、下記URLを御覧ください。

<http://alis.pref.aomori.lg.jp/kouza.html> (青森県総合社会教育センター講座ページ)

社会参加活動モデル団体の声

モデル団体となって、とても充実した活動を行うことが出来ていると感じています。レスタの主な活動「寺子屋ありす」では、子ども達との活動に、よく第1多目的室や調理室を使用するのですが、様々なレクリエーションができています。スタッフの皆さんのお気遣いもあり、大変心地よく使用しています。

また、掲示板を使って活動紹介をさせてもらっています。小・中学生の寺子屋ありす参加者や高校生のボランティアが少しずつ増え、周知の効果を感じています。今後も、学生団体の特性を生かし、継続して安定した活動を行っていければと思います。(Lesta(レスタ) 代表 二本柳さん)

VOL.1
六戸町

魅力ある講座の実践紹介！

講師とのつながりを生かした事業展開
基本は「私がやってみたい事！！」

六戸町教育委員会 教育課社会教育係 主査 赤平 祐奈さん

六戸町文化ホール



今回は、青年層に向けた事業、「六戸町青年講座」の取組について、赤平さんから話を伺ってきました。

町民の声、感じた所から始まっている

これまでの事業は、子ども向けやご年配の方々に向けたものが主でした。町民の方々からも「中間層を対象とした事業が無いのではないか？」という声をいただき、「**青年層に向けて何かできないか。**」というのがきっかけになりました。

ここ数年で、新興住宅街の若い方の人数が飛躍的に増えています。小学校も教室が足りないくらいの状況です。若い方々の割合が増えていることもきっかけの一つとなりました。

この**六戸町青年講座**は**20歳～40歳代の方々**が対象になります。**私自身が対象者に属するため、「自分だったら何をやりたいか？」**をベースに事業の内容を考えています。また、参加者のアンケート結果も参考にしています。参加者の都合の良い曜日や時間、内容など要望の多かったものは取り入れるようにしています。その中で多かったのが「お酒」に関することでした。



日本酒を味わう講座



チーズ&ワイン講座

「**日本酒を味わう講座**」では、六戸町出身で小料理店を営んでいる方にお声がけしたところ、杜氏の方を紹介していただくことができました。日本酒をどのように造っているのか、種類によってどんな違いがあるのかなど、知識として学んでから飲むので「単なる飲み会」とは違ったものとなりました。また、そのお酒にあった料理の選び方も学ぶことができ、好評でした。

講師とのつながりから、様々な職種の方を紹介していただき、チーズからワイン、ワインからビールと、色々な形でネットワークが広がっています。

人を集めるのは難しい・・・

課題としては、新興住宅街の方々を含め、まだまだ社会教育の**認知度が低い**ということです。興味を持って欲しいという思いで事業の計画を立てていますが、**予想していたより申し込みが少ない場合**もまだあります。今後周知活動のあり方を工夫していく必要があります。住民の方も「気になるけど、『行ってみよう』とはなかなか……。」というような声も聞かれます。皆さんは人集めや周知活動をどのように進めているのか、是非教えていただきたいです。



紅茶教室



ポーセラーツ教室

生涯学習のきっかけ作り

事業に参加してもらうに当たって、実際は「仕事が忙しい。」「子育てで時間が無い。」という方が多いと思います。そういった中でも**何もやらないのではなく、機会を設けて1回でも2回でも参加してもらいたい**です。

そして何か一つでも興味を持ってもらい、**ゆくゆくは時間ができた時に興味を持ったものに取り組んでいただければいい**と思っています。

皆さんに「**ここで、こんなことをやっているんだ。**」と知ってもらえるための**きっかけ作り**を地道に続けていくことが今できることだと思っています。

生涯学習を積み重ねていくための環境作りが**社会教育の土台作り**につながっていくと考えています。

今年度予定している「六戸町青年講座」(全10回)

- ①コーヒー講座 ②ハーブ教室1 ③カフェミナーージュ教室 ④ワイン講座 ⑤紅茶教室 ⑥ビール講座
⑦チーズ講座 ⑧ハーブ教室2 ⑨キャラ弁作り教室 ⑩アロマクラフト作り教室



《青森県総合社会教育センターシンボルマーク》

人づくりの拠点として、県民の生涯にわたる学習の輪が、和を持って限りなく広がっていくことを願っています。家庭、学校、地域社会が一体となる姿を表現するとともに、色を緑色とし、伸びゆく緑豊かな青森県を表しています。